

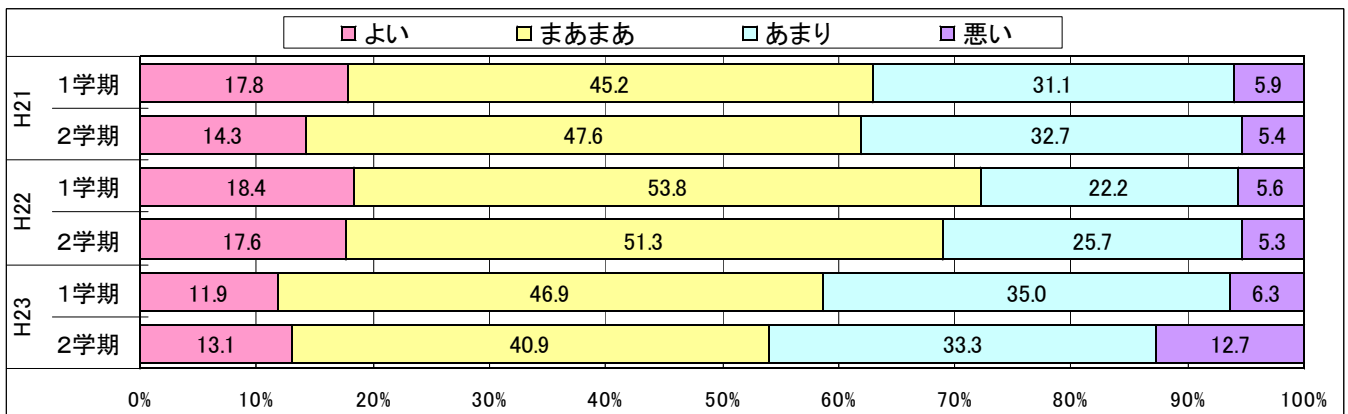


2つのグラフが語るもの

始業式で生徒たちに呼びかけ、職員会でも先生方にもお願いしました。「AKB351」のAについてです。朝、校門や交差点で交通指導をしていると、ほとんどの生徒たちがあいさつをしてくれますが、その声になかなか聞こえてきません。口元が「おはようございます」と動いているのはわかりますが、元気な声になって響いてこないのです。言葉は、相手に届いてはじめてコミュニケーションの道具として役立つものです。相手に通じなければ、していないのと同じことになります。

下のグラフは、保護者評価の中の「地域で見かける中学生のあいさつの様子」についての結果です。ここ3年間を見ても、今の状況が一番よくないことがわかります。「よい」「まあまあ」と「あまり」「悪い」との割合がほぼ同じになってきました。特に、「悪い」と解答した方は、これまでの倍に増えています。

今が、一年で最も寒い時期です。寒いときだからこそ、心がポカポカと温くなるようなあいさつが大切です。ただ単に「あいさつをする」だけではなく、「相手の心に響く元気なあいさつ」を心がけましょう。



今日、1月17日は、阪神・淡路大震災が起きた日です。あれから17年が過ぎましたが、この日は決して忘れてはならない日です。そして、昨年起きた東日本大震災後に初めて迎える“1・17”になります。各地では、東日本大震災の犠牲者への追悼の思いも込めて市民が「生」の文字を形取った石を積み上げたり、東日本大震災が起きた午後2時46分にも黙とうを行う予定にしたりするなど、阪神・淡路と東日本の2つの大震災の犠牲者を追悼するとともに、17年前の経験や教訓を東北の被災地の復興にどう生かすかを共に考える一日にしようとする動きが見られています。

本校でも、“今、私たちにできること”として、電気量を前年度より10%削減することを目標に節電に取り組んできました。下のグラフは、4月から12月までの結果を表しています。単位はキロワット、一番下の()内の数字は、前年度比です。この9か月では、前年度より電気量8.5%減と健闘しましたが、目標の10%減までわずかに届きませんでした。でも、金額にすると74865円の節約になっています。

